

ウガンダのムベンデ県にてレモングラスの栽培拡大と環境教育による環境保全事業

活動地域  ウガンダ

ひろげる助成

3年目

実践

レモングラス栽培と植林の面積 **244 ac**

植林数 **112,000 本**

今年度計画の達成度 **95 %**

目標達成度 **90 %**



栽培したレモングラスをチェック

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

- 乾季に栽培したレモングラスが枯れてしまうこと
- レモングラスエッセンシャルの継続した売上が困難なこと
- 雨季に道路状態が悪く移動ができなくなること

■ 工夫した点

- 乾季は植林などに力を入れた
- レモングラスエッセンシャルオイル販売に代わり、オイル入りの新製品を開発した
- 雨が降る時間帯を避けてモニタリングを実施した

課題

2011年以降の連続的な干ばつ、また貧困で生活に困窮している人々が耕地を求め、森林伐採、湿地帯へ侵入するなど、人々の手による環境破壊が進んでいる。

目標

ウガンダ県にて、不毛な土地におけるレモングラス栽培、女性/青少年/子どもを対象とした環境教育、環境に関する政策の施行強化を通して環境保全が促進される。

活動内容と成果

- 地域の女性や青少年を対象に、レモングラス栽培や、環境保全促進に関する情報や知識を身につけさせた
- 学校16校を対象に環境保全クラブを設立し、学校内での植林活動や他の生徒・保護者へ啓発し、環境保全教育を促進した
- 地方政府の指導者たちと湿地侵害などから環境を守る「法と規制」の強化・監視をするようになった
- ムベンデ県にて木炭製造を目的とした木の伐採の規制「木炭条例」が制定された。SORAKは木炭の燃料の代わりにレモングラスの廃棄物からブリケット炭を生産し環境に配慮した取組みを行っている



環境保全クラブの生徒達による植林

全助成期間の活動を振り返って

環境保全を目的としたレモングラス栽培を青少年・女性を中心に地域に拡大し、地域の指導者たちとともに環境保護や湿地帯侵入を禁止する法律の策定・強化をし、また学校の環境保全クラブを通して生徒や保護者に環境教育を提供し啓発することができた。このような様々な実践とともに、さらに植林、ブリケット炭、レモングラスのエッセンシャルオイルを用いた商品の開発などを適用したことにより、3年間の本事業は成功に終わった。



レモングラスの蚊よけジェルの開発・販売

Po Box 71883 Clock Tower, Kampala Uganda

電話: +256 703 515225

E-mail: sorakd@gmail.com

HP: <https://www.facebook.com/Sorak-Development-Agency-314375665249241/>



今後の展望

SORAKはレモングラス栽培と植林を地域の農家とともに今後も続けていく。また、環境保全に関する法の施行がきちんとなされているかを地域の指導者たちと協力しながら継続する。さらに、学校の環境保全クラブを通じた生徒達への環境教育と啓発を今後も続けていく。本事業にて開発した新製品であるレモングラスエッセンシャルオイルを用いた蚊よけジェルは今後も生産・販売を続け市場を拡大していく予定である。